

☆☆☆
PLATINUM
MEMBER
REFORM SUMMIT

プラチナ会員
限定製品

リフォーム
サミット店
Supported by KANSAI PAINT



RS PLATINUM MUKI

RS プラチナ MUKI

すべては「最良の品質」を
お届けするため

Kansai Paint

ベストセレクトな最良の塗料

塗料の総合メーカーである関西ペイントには100年を超える開発を背景に、あらゆる用途や条件に応じた塗料設計のノウハウがあり、数百種類の製品を取り揃えています。その中で、戸建ての外壁塗替えに最適で、高性能な製品を各塗料グレードにおいてラインナップしています。



Reform Summit

重要なのは確かな塗装技術

塗膜の品質に大きく影響する塗装技術。その重要性を理解する、こころざしの高い塗装会社のみ参画するのがリフォームサミット店。「安心と信頼」の製品をお届けするために、塗料と塗装の正しい知識と技術を伝授する定期研修会を実施。認定された「優良な塗装会社」が最良の品質で塗料と塗装をご提供いたします。



リフォームサミット
紹介動画はこちら

水性ハルスハイリッチ無機有機ハイブリッド塗料

RS PLATINUM MUKI

プラチナ会員限定製品

「RSプラチナMUKI」は関西ペイントのハイブリッドテクノロジーにより

「無機」と「有機」の特性を最大限に発揮させ

従来の最高位グレード「ふっ素樹脂塗料」を超越。

超長期耐久性と多彩な機能により

大切なお住まいを過酷な環境から長期間護ります。



超高耐候性

「無機」×「有機」のハイブリッド技術とラジカル制御技術により
長期耐候性を発揮します。

ラジカル制御技術採用

関西ペイントテクノロジーを駆使した、
塗膜劣化の原因物質である「ラジカル」の発生を抑える
4つの塗膜コントロール技術で、塗料の耐久性を飛躍的に向上させます。

強力な付着力

ハイブリッドレジン結合技術により、強力な付着力を発揮します。

超低汚染性

優れた超低汚染性で美観を長期にわたり維持します。

防カビ・防藻性

建物の美観を損ねるカビや藻の発生を抑制します。

ホルムアルデヒド放散等級

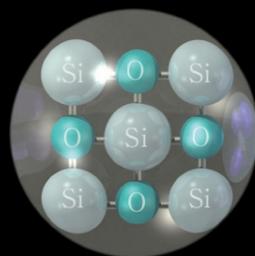
F☆☆☆☆

無機 × 有機

無機・有機ハイブリッドテクノロジーが塗膜の耐久性を最大限へと導く

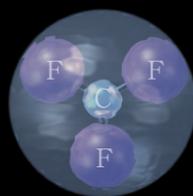
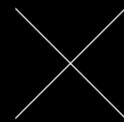
ハイブリッド技術

「無機」の強靭さと「有機」の柔軟性、そしてフッ素樹脂の素材の保護機能を高効率で配合させることで優れた耐候性を発揮します。



無機の優位性

太陽光(紫外線)や酸性雨など長年浴び続けても簡単に崩れない耐久性を持ちます。

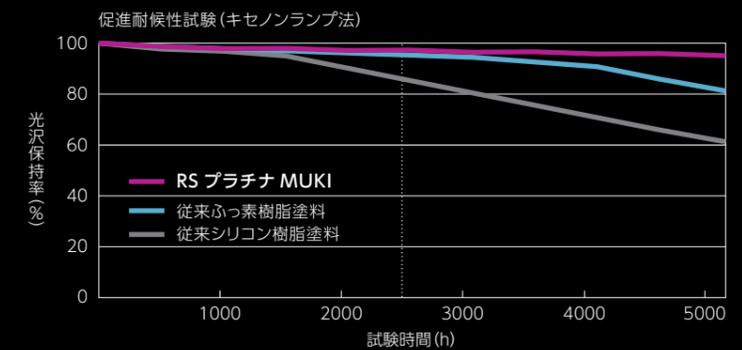


最高グレードのフッ素樹脂

加工がしやすく柔軟性がありコーティングした素材を強力に保護します。

超高耐候性

ラジカルの発生を制御する4つの塗膜コントロール技術により長期耐候性を発揮します。



※JIS-A-6909耐候形1種(キセノンランプ法2500時間、光沢保持率80%以上)合格レベルの性能を有しています。これは、一般的に10~15年の耐久性に相当します。

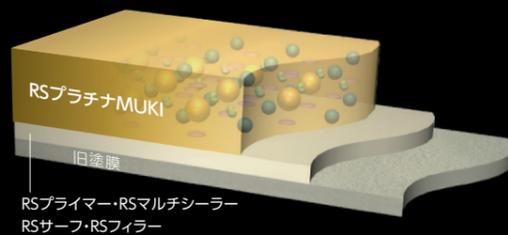
4つの技術で紫外線から外壁を護る

ラジカル制御技術

ラジカル制御技術

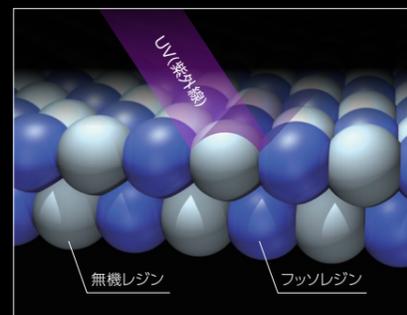
「ラジカル」とは、塗料の主成分のひとつ「酸化チタン」に紫外線が当たることにより発生する物質で、塗膜を破壊し劣化を促進させます。

この「ラジカル」の発生を4つの塗膜コントロール技術で根本的に抑え、外壁を長期にわたり保護します。



高性能フッソレジン

超強力な結合エネルギーを持つ
国産「高性能フッソレジン」で紫外線劣化を阻止



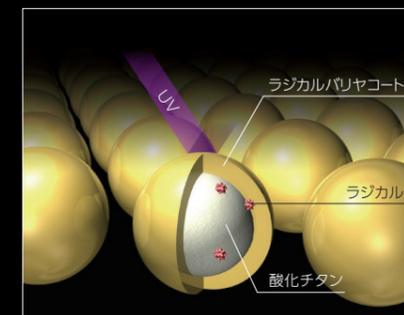
UVトランプ

「高性能フッソレジン」をすり抜けた紫外線を
「UVトランプ」で無害化



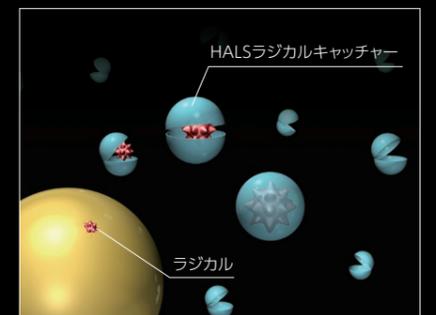
ラジカルバリアコート

酸化チタンへの紫外線到達を阻止し
ラジカル発生を抑制



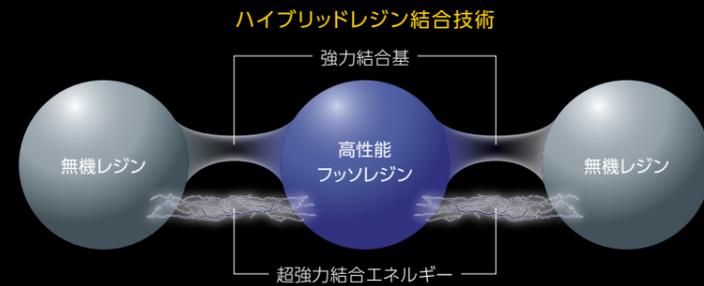
HALSラジカルキャッチャー

極微量すり抜けた紫外線によって発生したラジカルは
「HALSラジカルキャッチャー」で捕獲し無害化



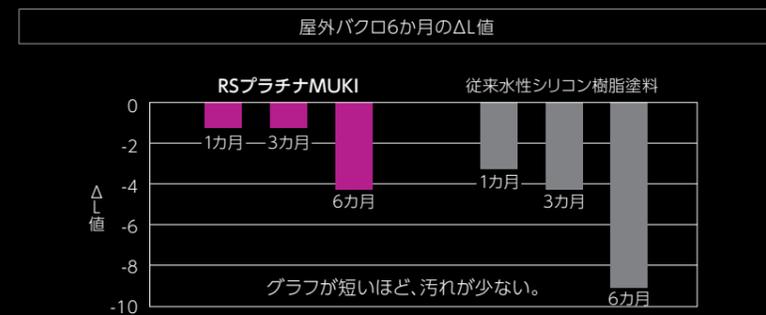
強力な付着力

各結合基の超強力結合エネルギーをもたらすハイブリッドレジン結合により、
強固な塗膜形成と素材への付着力を発揮します。



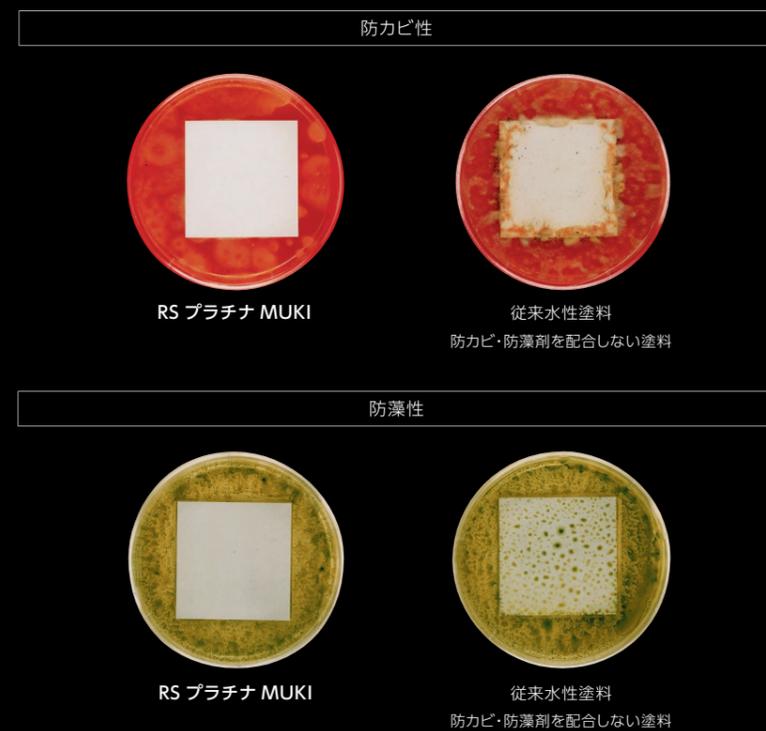
超低汚染性

親水性の塗膜を形成することで、付着した汚れを雨水が流し落とします。
雨だれ等を低減し建物の美観を維持します。



防カビ・防藻性

カビや藻が建物に影響する美観の問題や早期劣化の予防に効果を発揮します。



<試験方法>

カビ類または藻類を培養させた寒天の上に塗膜を置き、一定期間後の状況を観察します。
中央の四角(塗膜)にカビまたは藻の繁殖が認められなければ、防カビ・防藻機能を有していると言えます。